

アラト自由経済区域

アラト自由経済区域(Alat Free Economic Zone: AFEZ)について、2021 年 1 月 17 日付の経済トピック「広域物流拠点(ロジスティック・ハブ)の整備」でも紹介しましたが、今般、同区域の開発、運営を行う AFEZ 管理庁のアスガロフ長官に同区域の整備状況と今後の展望についてお話を伺いましたので、その概要を以下にご紹介します。

1. AFEZ 管理庁は、アリエフ大統領直下に置かれる機関であり、大統領が長官の任命と罷免の権限を有しています。その他は AFEZ 管理庁に一任されており、入居企業に対する許認可についても AFEZ 管理庁が行い、他の機関が弊社の業務に関与することはありません。
2. AFEZ は 858 ヘクタールを有しており、同区域内では、関税など、およそ 80 の国内法の適用が免除されます。また、バクー国際海洋商業港と高速道路に隣接しており、鉄道も同区域内に乗り入れる予定です。通信や上下水など基礎インフラは AFEZ 管理庁が整備する予定です。
3. AFEZ には、ビジネスセンターや職業訓練校の建設も予定しており、入居企業に対する支援体制の構築や、人材の教育と提供も行う予定です。入居企業に対する職業訓練校を通じた人材提供に関し、各企業から要望があれば、初めは国営企業から人材を転用する予定で、2、3 年後には職業訓練校への入学者を公募する予定です。
4. AFEZ は、3 区域に分割されており、来年 7 月にはゾーン 1(198 ヘクタール)のうち、60 ヘクタール(25 の倉庫及び工場用区画)の運用を開始する予定です。ゾーン 1 は軽工業、ゾーン 2 と 3 は重工業を中心とした区域にする予定で、現在、ゾーン 1 の入居企業を募集していますが、トルコ、独、伊、英、米、イスラエル等、様々な外国企業が検討中、または弊社から同企業に対して提案している状況です。来年 7 月に運用開始予定の 60 ヘクタールについては運用開始時点ですべて埋まると予測しており、開発を急いで進めています。当区域の主要な目的の一つは、輸出促進なので、海外企業の入居を歓迎します。
5. AFEZ 入居企業は入居を決定以降、6 から 8 ヶ月をかけて施設の設計を行い、18 から 24 ヶ月で施設を建設する想定です。施設の設計及び建設基準は AFEZ 管理庁からは特定せず、各企業は本国の基準を含め自らに最適と判断する設計及び建

設を行うことができます。

6. AFEZ 入居企業は、AFEZ 管理庁と借地契約を結ぶことになります。借地契約の期限について制限はなく、価格については当該企業の希望価格も考慮して設定します。
7. 自分が、7 月上旬にトルコを訪問した際、トルコの製造業、特に、エンジン、ポンプ、コンプレッサーや冷蔵庫の製造メーカーが AFEZ に対して強い関心を示していました。

(以上)